

TICOの挑戦

ザンビア 心臓病医療支援

▷ 3

「僕たちの荷物ほどは全てそろっていないな具合ですか」。1 ため、縫合用の糸から手術中に出た血を吸い

立ち足はだかる壁



殺菌のため手術器具を消毒液に漬ける医療関係者。衛生環境は良いとはいえないザンビア大付属教育病院

届かぬ器具手術遅延

迫っても、日本から発送した医療器具が届かなかったのだ。

取重さ30kgの吸引機械まで、TICOはその半分の約50点を日本

から郵送。手術の3日前にはUTHへ着くと

に時間がかかり足止めされていた。通関手続きもスムーズに運ばれていないもの、

患者の臓器に直接触れるメスなど手術器具の消毒も、十分とはいえない。熱に弱い金属製の器具は、殺菌カスを充満させて消毒する「ガス滅菌装置」が一般的。日本では小さな診療所にも備えられているが、UTHは所

今回、現地医師による執刀で初めて実施した心房中隔欠損(ASD)閉鎖手術は、100点以上の医療器具を必要とする。UTHに

荷物は、現地入りしたの手術予定日の準備が整わず、手術開始は当初の予定から1日ずれ込んだ。途上国へ必要な

て、ようやく病院に届いたのは手術予定日の2月5日。準備が整わず、手術開始は当初の予定から1日ずれ込んだ。途上国へ必要な

て、ようやく病院に届いたのは手術予定日の2月5日。準備が整わず、手術開始は当初の予定から1日ずれ込んだ。途上国へ必要な

としてザンビア入りした四国こととおとなの医療センター(香川県善通寺市)の江川善康医師(64)は「日本の医療現場では考えられないくらい衛生環境の必要器具をそろえる」と、驚きを隠さない。滞在中には、手術の衛生観念も変えていく必要がある」と話した。(乾栄里子)